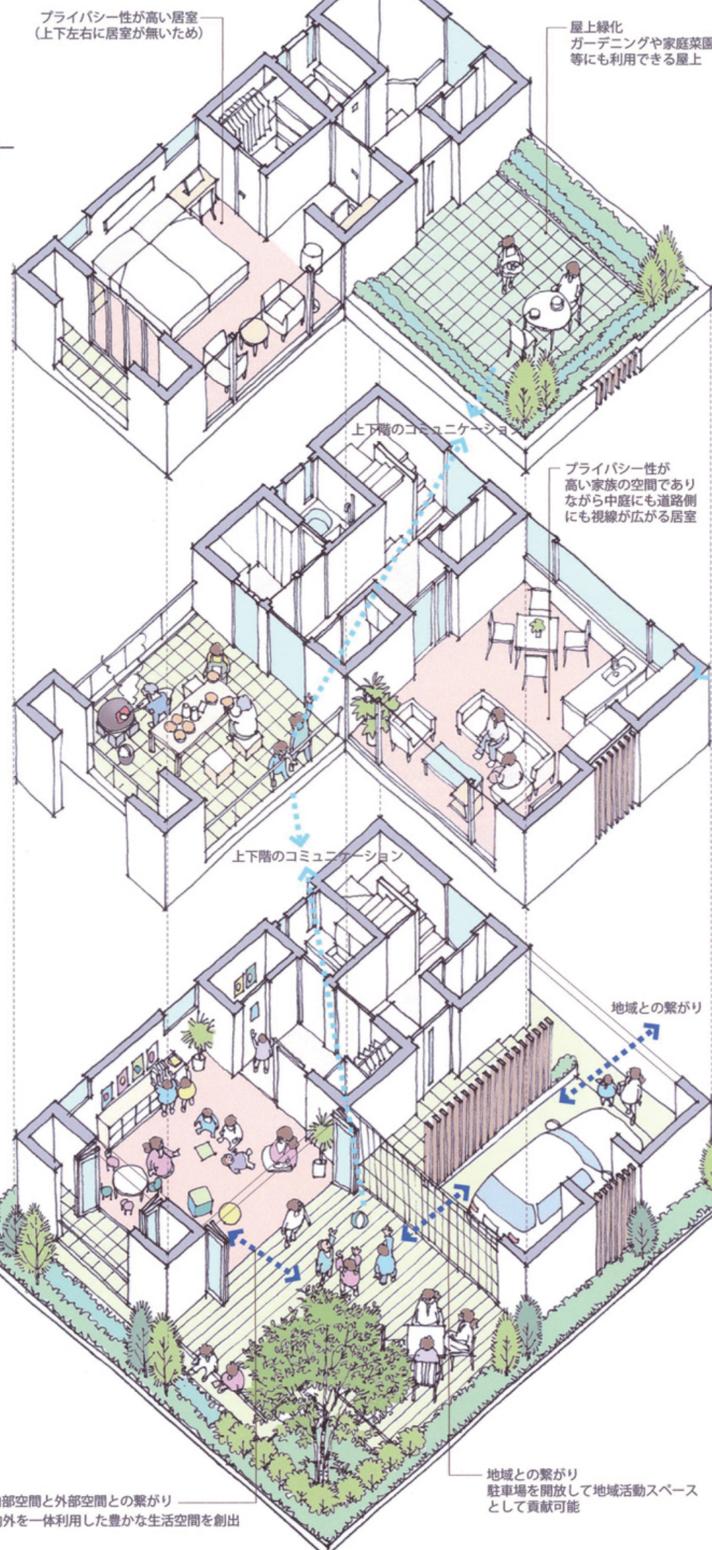
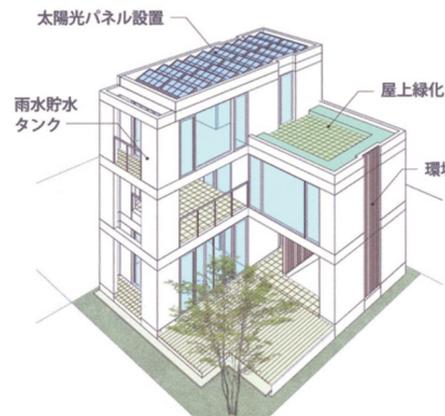


コンパクトで  
シンプルなシルエット  
これからの都市景観を創る  
ファサード。

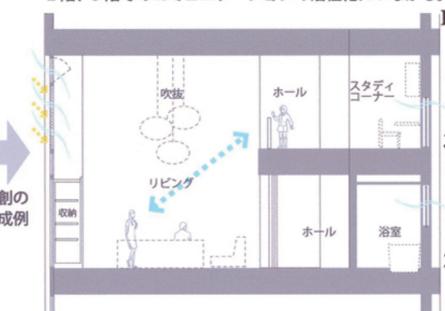
Kuusou Jizai-ya

# 空創の自在家

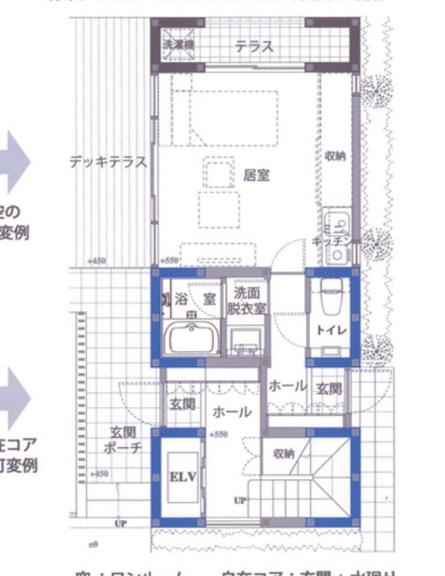
地球環境に配慮した住宅として・・・



空創の構成一例  
空：吹抜けとした約15畳のリビングダイニングとする。  
3階自在コア：開放的なスタディーコーナーとする。  
3階ホールとの一体感と広がりを出すとともに、  
2階、3階でのコミュニケーションの活性化につながる。



可变性の一例  
将来、ワンルームマンションとして賃貸が可能。



## 伝統的な日本家屋はロングライフ住宅？

ロングライフ住宅とは、畳と襖で構成され、客間にもリビングにも寝室にも成りうる可变空間を持ち、地域の絆と共に築数百年の間、何世代も使い継がれて来た日本家屋であると言えることができるが、決してコンパクトではないし、障子と襖で仕切られた和室は、家族間でも個人のプライバシーを尊重する現代の生活には不向きである。

## コンパクトなロングライフ住宅とは・・・

- 日本家屋のように、長い年月の間、様々な用途に使えるプレーンな空間があること。
  - しかも、それぞれの空間にプライバシー（物理的な）が存在すること。
  - しかし、完全に地域コミュニティから遮断するのではなく、開かれた空間も存在すること。
  - そして、様々な生活様式にも容易に対応できるフレキシビリティが存在すること。
- であると考えます。

## 空創の自在家

「くすのじざいや」とは、日本人が培って来た、フレキシブルな空間利用の考え方と小さなスペースを巧みに活用する技を組合せたコンパクトなロングライフ住宅です。

- 特徴
1. 長寿命を可能にするコンパクトな「自在コア」
  2. コミュニティとプライバシーを両立させる「空創の立体構成」
  3. 自在コア構造と空創の空間構成により、間取りや用途、増築・減築が「自由自在」



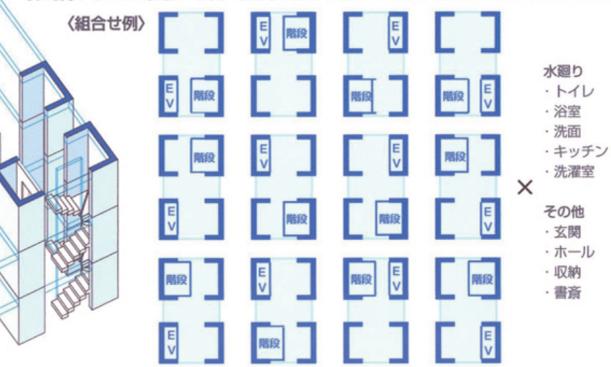
### 自在コア構造

制振装置付のコの字の構造壁4つを  
組み合わせた  
コンパクトな  
自在コア。



### 可変性

縦動線のエレベーターと階段の位置の組合せだけでも12通りのバリエーションが組みあがる自在コア。使い勝手によって、水廻り・玄関・収納等の組合せを加えると500通り以上のコアプランが可能。



### 空創の立体構成

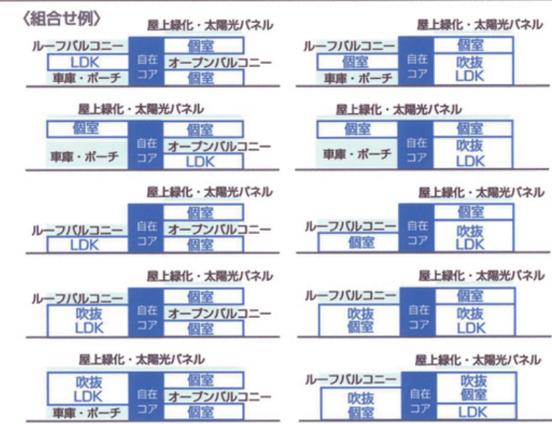
家族のコミュニケーション、地域とのコミュニケーションを活性化しながら、個人プライバシーを守る為に、内と外の空間を立体化。



合理性  
敷地形状、方位、接道状況、必要床面積等に合わせ自在コアから構造壁までの距離を調整し、各空創の面積を調整できる。

機能性  
各室から最短距離で動線、設備が集中する自在コアへ繋がる。狭小地においては、空+創で吹抜け空間を造ることができる。

可変性  
立体的な重なりにより、それぞれの空間の独立性が向上する為、将来、共同住宅や、店舗、貸しスペース等への用途変更が可能。また、どちらか片側の空を解体し減築も可能。



### 居住者設定

- 建設時 リタイヤ夫婦（夫：68歳 妻：66歳）+ 独身、保育士（娘：35歳）
- 3年後（今回提案プラン）  
娘が結婚し、近所のマンションへ転居。実家の1階（娘の部屋）を利用し、保育士の資格を生かした保育ママとして家庭的保育事業を運営。保健師をリタイヤした妻も手伝い、近所の子供達をあつまりながら、近隣のコミュニティへ積極的に参加。数ヶ月ごとに行う地域イベントでは、夫が中心となり、駐車場と中庭を開放し、近隣との絆を深めている。
- 将来  
プランA・2階バルコニー、3階ルーフトテラス部に増築、2世帯住宅とする。  
プランB・2階部分を減築し、空いた土地に共同住宅を建築し、賃貸する。  
etc

- 計画概要
- 敷地面積：120㎡（36.3坪）
  - 延床面積：117㎡（35.4坪）
  - 用途地域：近隣商業地域
  - 規模：地上3階
  - 建築面積：65㎡（19.7坪）
  - 構造：木造軸組（制振装置）

### 商品化・販促計画（ネットで設計）

- 自在コア+空+創スペースの組合せにより、1万通り以上のバリエーションを持つ『空創の自在家』の特徴をフルに活用。居住者情報を入力すると、未来のマイホームのプランができるサイトを創り、ネット上で空想の家づくりを体験。

